

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表日

R7年 11月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 横浜中田教室

保護者等数(児童数) 10名

回収数 10件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10				十分だと思っています。	ありがとうございます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			1	手厚いと思います。	午前中の児童発達支援ではマンツーマンになっております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1		2	掲示物などで分かりやすくなっている。玄関に段差がある。階段がある。	教室は2階ですが教室の中はバリアフリーになっております。玄関は利用児童が玄関だとわかるように、3センチ程度の段差を付けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1	いつもきれいです。	支援が終わるたびに掃除・除菌しています
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1			特性に合った支援をしていると思う	ありがとうございます。 これからも、特性に合った支援をしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			2		毎月プログラムカレンダーを出しております。洋服の汚れてしまう可能性のあるプログラムや外出もございますのでプログラムカレンダーを見て、持ち物等ご用意ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		1		2	子供がまだ具体的にどうなりたいという希望がなさそうなので、出た時の計画から本当の計画かな？と思っています。	今お子さんに必要と思われることを計画に入れています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2		3	無理だと思いますが、幼稚園や保育園に行っていないので、そこであそべるといと思っています。	申し込みは年になんかいかにしておりますがお断りされています。力及ばず申し訳ありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					ご契約の時に伝えてしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8			2		しているつもりですが、もう少ししっかりとさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2		1		お手紙配布させていただいております。 見てください、そして参加してください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	4	3	1	2		保護者参観は年に2回程度おこなっております。面談の際には下のお子様も一緒に連れてきていただき、一緒に遊んでいたいただきます。父母の会は会長を募集しております。お声掛けください。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9		1		すぐに対応できるようにしてあります。 お電話ください。
保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				ありがとうございます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10				ありがとうございます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				ありがとうございます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9		1		いつでも閲覧できるようになっています お声掛けください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9		1		訓練は毎月、曜日を変えて行っておりま す。年に2階は回ってきます。 本年度は引き渡し訓練も実施できました。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9		3	発生したことはありません。	ご報告をしなければならない事故は、 発生しておりません。発生した場合は 速やかにご報告いたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9		1		お友達との関係で怖い思いを しているお子さんがいるのでしょうか？ 申し訳ありません、ご連絡ください。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9		1		「いいえ」を選択された方、空きを待っ ている方にお席を譲っていただくとゆう選択 肢を持っていただきたいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				ありがとうございます

公表日

R7年

11月

20日

事業所名

こぼんはうすくら 横浜中田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		教室のスペースは十分あります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		プラス1で配置させていただいています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		教室は2階ですが、教室の中は玄関に少しの段差があるだけです。	玄関の段差を時々言われますが、お子さんに玄関では靴をぬぐことを促すためにわざと玄関の段差にしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		午前の支援の終了後も掃除や除菌をおこなっております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	お部屋が2つありますので、そちらで過ごしていただいています。	小さいお部屋が3つありますが、もう少し使いやすくてきたらと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	常勤者は参加できていますが、非常勤の方は時間に制限がありますので難しいばあいもあります。	非常勤も参加できるよう隙間時間を利用したり、連絡ノートを利用したりしています。。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		お手紙を出して、周知をしています。	保護者に伝わり切れていない部分があるようですが、幼稚園や保育園のお手紙は見るがこぼんのは見ていない可能性が。。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		隙間時間や個別の面談を通して職員の意見は把握しています。	事業所で、できることできないことがあること。その内容のことをやってくださいと言ってもやっていただけないことがあるので、職員の皆様も言うだけでなく、形にする努力をしましょう。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	フランチャイズによる評価を受けています	検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	こぼんの研修には参加しております。事業所研修・法人内研修も行ってあります	非常勤の方も外部研修にも行けるように検討いたします非常勤の方は、時間や日時が限られているのでお互いに合わせる努力をしたいと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎月配布をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		非常勤の方にも支援時の様子を聞いています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	個人ファイルに入っています、いつでも見れるようになっています。	隙間時間を使った支援会議をすることが多くありますが、支援会議をしますとか、言わずに話し始めてしまうので共通理解までいたらないのかもかもしれません。今後は〇〇さんの支援会議をやります等宣言してから開始します。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			口頭で伝えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		毎日記入している連絡帳もツールの一つです。理解をしていただけるようにお話ししていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		その都度必要に応じてしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	記入ができる用紙を置いてありますが、お声掛けにも反応が薄いのが現状です。	参加していただきたく毎年イベント部を募集しておりますが、どなたも名を挙げてくれません。ぜひ参加してください。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		今のお子さんに必要と思われるものを提供しております。	準備に時間が欲しいものとか、職員間の話し合いがないとかいろいろ改善はできそうです。工夫をします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	打ち合わせは、しています。	役割分担を決めると、それしかやらない方が、出てくるのでは役割分担はしていませんが、必要があれば検討します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	管理者は非常勤の方とふりかえりをしていますし、それを常勤にもつたえています。	常勤・非常勤のあいだで、コミュニケーション円滑に取れるように工夫をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日報に記録しています。	日報の記入者はほかの職員から話を聞くことをしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度ではなくて、必要に応じてしている。	隙間時間を使ったり、1週間をかける職員全員にきくようにしている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		会田クリニックをお願いをしている。食育の大切さについて保護者向けに講演をしていただきました。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		送迎時にお話しするなどしています。保護者を通してお話ししています。	何らかの理由で教室に來所されたときは玄関で返すのではなく、中に入ってもらいお子さんの様子をみてもらう。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			必要に応じてではなく、する方向にもっていきたいと思いますが、学校によっては拒否をされるところもあります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8		必要に応じて	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		公園の予定を把握して、地域のお子さんで遊べるようにしています。コミュニティセンターの日程も把握しています。	保育園幼稚園は、何度か交流をお願いしていますが、いいお返事がいただけていません。がんばります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		連絡帳や送迎時、お電話でお話をさせていただいております。	児童発達支援の保護者には少ないかもしれませんが、増やします。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		お手紙にて配布しています。今年度は「スケジュール管理術」「こぼんまつり」「廃材アート展」を開催しています。	アンケートをとると、保護者会がないやりたい、というこえがありますが、募集をすると挙手がありません。良い考えがあれば知りたいです。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にしています。	ホームページにも記載しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談しています。お子さんとも面談します。	三者面談にしようと思います。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			もう少し丁寧に説明するべきかな。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		お電話にいつでも対応できるようにしています。	こちらからも電話するべきですね。定期的にしているつもりですが、改善します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会を開催しています。参加されている方は、情報交換もできていると思います。	保護者全員の予定に合わせるのは難しいです。父母委の会の会長を毎年募集しております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		すぐに対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		さはる通信 ホームページでのブログ	ブログはあまりしゅうちされていません。周知されるように努力します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		お名前を消したりしています。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子さんがお話したことや状況をしっかりと伝えます。	お伝えしていますが、保護者には保護者の考え方やとらえ方があるので、難しいときもあります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		こばん祭りには、ご近所さんにも招待状をだしています。	来てくれませんので、工夫が必要です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		誰もが閲覧できるようにしてあります。訓練もしています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		お子さんには年に2回必ず訓練ができるようにしてあります。引き渡し訓練もできました。	訓練内容を見直していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		している。	保護者全員かられんらくがくるように促す必要がある
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーの物は出さない。	継続する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		研修で安全計画の確認・実施に努めている	継続する
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		常にお知らせしている	継続する
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットファイルがあり、ヒヤリハット発生時には再発防止をミーティングで共有している。	継続するとともに、ヒヤリハット発生件数を減らす。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待委員会を設け、委員会を開催し、職員研修へとつなげている。	管理者・児発管以外の方も外部研修に行けるように調整していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束を必要とする利用者がいない。	必要に応じて検討する。